

8月定例議会

(8月28日～9月24日)

子育て世帯への支援の充実と 公平・公正な施策を！！



④ 同和行政の終結に関して、特定の団体である部落解放同盟に対して補助や負担金を続ける事は、公平・公正な行政では無く民主主義に反する。

法人市民税や固定資産税は4億円近く増える中、アベノミクスで景気も回復せず、個人市民税は3千万円以上減っているように、市民の暮らしが大変な状況です。評価出来る施策や事業もありますが、行政側の財政的な観点だけで無く、市民の立場に立った公平・公正な予算の執行を行うべきです。

- 定例議会は平成25年度の決算認定、補正予算、条例改正等の審議と採決を行いました。そのうち決算については、多くの課題や問題点が含まれており、一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、それぞれの会計に対して問題点を指摘しました。
- 一般会計歳入歳出に関しては、具体的に以下の点を議案質疑や各委員会、討論で指摘しました。
- ① 小中学校の児童・生徒の就学援助制度について、国としてPTA会費、部活動費、生徒会費等が準要保護世帯も対象となり、地方交付税措置されたにも関わらず補助していない。
 - ② 県下でも4番目に高い国民健康保険税に関して、一般会計からの法定外繰入をやめたままである事や、基金の取り崩しを行っていない事により、負担増が解決していない。
 - ③ 市内大企業に対して約束だからと工業振興助成金を支払い続ける一方、住宅リフォーム助成

地元から改修要望のある妓王井川



友川の河川整備改修を視察



大幅値上 学童保育料(季節)

下表のように平成29年度まで段階的に季節のみ利用する学童保育料を、大幅に引き上げる条例が可決されました。

平成29年度で143%。平成31年度の予定なら155%の引き上げです。保育園の保育料よりも高くなる方もおられ、低所得層が排除されかねないと反対をしました。

平成26年8月定例議会 条例改正 円

		現在	H27	H28	H29	H31
通年		10,000	10,000	10,000	10,000	10,500
夏季	7月	8,000	9,000	9,000	9,000	
	8月	15,000	16,000	19,000	22,000	
冬季	12月	3,000	4,000	5,000	6,000	
	1月	3,000	4,000	4,000	4,000	
春季	3月	6,000	7,000	8,000	8,000	
	4月	5,000	6,000	7,000	8,000	
季節合計		40,000	46,000	52,000	57,000	62,000

国保税引き下げ

8月定例議会で、県下で4番目に高い国民健康保険の国保税一世帯一万円の引き下げを求めました。市当局は「国保税の引き下げを検討したい」と回答。

3年前の30%の大幅引き上げで現在基金は、2億2000万円保有し、繰越金を合わせると3億6000万円にもなります。高島市より10万円も高い国保税は、払いたくても払えない状況であり、来年度引き下げへの道が出来ました。

検討

共産党提案の意見書4本否決



コメ暴落の対策
なぜ黙って反対なの
35人学級
なぜ 時期尚早なの

◆コメの暴落に関して緊急対策を求める意見書

今年の米価が1表3000円も暴落する状況です。「再生産ができない」と悲鳴が上がる中、緊急に政府に買い入れや過剰米処理の対策を求める意見書に、保守系や公明党は反対討論もなく反対。これでは市民に対して説明責任を果たせないのではないでしょうか。

◆35人学級実現と加配教職員の増員を求める意見書

35人学級は小学校1年生しか法定化していないため、定数の見直しが必要です。少人数学級は親も教師も願うところですが、保守系の議員が「文科省で検討しており、時期尚早」と反対討論をしました。なぜ時期が早いのですか。理由にならない理由に疑問をいただきます。

◆外形標準課税の拡大に反対する意見書

赤字の中小企業にも課税する「外形標準課税」拡大に対し、「法人税率の引き下げで、地方税収が落ち込む中、広く、薄く課税する税制は必要」と公明党が討論し、否決されました。

市議団ホームページをご覧ください

<http://www.yasusigi.net/>